

会議録

1 名称 平成26年度第6回普賢寺小学校コミュニティ・スクール推進委員会

2 日時 平成27年1月15日(木) 19時30分～20時45分

3 場所 普賢寺小学校2階コンピューター室

4 出席者等

(1) 委員(13名) 奥田委員長、榊副委員長、今井委員、中川委員、林委員、山村委員、藤林委員、田宮委員、塩田委員、西村委員、吉高委員、廣見委員、小長谷委員

(2) 事務局 畑中教頭、上原教務主任、藤井教育総務室担当課長、田原教育総務室企画係長

(3) 傍聴者(1名)

5 議事

(1) 先進地視察に関する研修

【事務局から説明】

【主な意見等】

委員 先進校の実践研究の報告があったが、普賢寺でも「ふるさと体験学習」を行っており、今の取り組みを押し進めていけば良いと感じた。

委員 「地域の教育力」とは何か。

事務局 「子どものために始めた取り組みが最終的に大人や地域の力にもなった」という報告があった。直接的な答えではないかも知れないが、こういう事を指すのでないか。

委員長 今の取り組みをどう継続していくか、充実していくかが大事ではないか。

事務局 今あるものを充実していく、子ども達がより多くの大人と触れ合うことによって、目指す子ども像を地域と共有していきたい。

(2) 学校運営協議会の設置に関する啓発活動の検討

【事務局から説明】

【主な意見等】

委員 地元説明会ではコミュニティ・スクール制度と特認校制度を分けて説明できるようにした方が良い。

委員 「地域」の定義付けを整理願いたい。

委員 学校運営協議会の権限のところ、学校の「経営方針」と言う民間企業のイメージ。「運営方針」とか「教育方針」の方が良い。

委員 「基本方針」に統一すればどうか。教育目標も入れるべき。

委員長 (リーフレットの) 表紙のタイトルを大きく。

委員 リーフレットでは「学校そのものが急に変わるわけではない」と説明されているが、コミュニティ・スクールで目指すもの、例えば「魅力ある学校をつくっていく」といったことがあれば分かり易い。

委員 コミュニティ・スクールとは何かと問われたときに、どう答えるのか。一言で印象に残るような答えができれば良いのだが。

委員 (リーフレットは) 1ページ余っているので、地域と学校が一体となって取り組む内容、例えば体験学習のスケジュールを掲載すれば分かり易い。

委員長 委員の公募について、やりたいと思っても敷居が高いと感じる人もいるだろうから、「あなたも参加してください」みたいに書いたらどうか。

周知はどのようにするのか。

事務局 地元説明会で案内を配布するほか、広報京たなべ2月15日号に記事を掲載する。

委員長 地元区からの委員の選出方法は。

事務局 各区長と相談したい。

委員 地元区から会長、副会長を出すということで良いか。
事務局 そのように想定している。
委員 普賢寺幼稚園の関わりは。
事務局 部会に参加していただくことを想定している。
委員 地元説明会は誰が行くのか。区で対応するのか。
事務局 事務局で対応するが、委員長、副委員長には挨拶をお願いしたい。

まとめ

- 本推進委員会の活動もいよいよ大詰め。
- コミュニティ・スクールとは何か、素朴な疑問を持つ人が多い。我々はイメージがあるが、それ以外の人には基本からのスタートになる。
- 津波の被害にあった岩手県大槌町のローカル紙「大槌新聞」の話を聞いたが、地域の願いを自分たちで伝える手段として新聞を立ち上げたとのこと。
- コミュニティ・スクールとは少し違うのかも知れないが、普賢寺小学校の学校だよりを読むと地域のことが全て分かるように感じる。
- 学校だよりやリーフレットで地域とコミュニケーションを図るのは素晴らしいことなので、コミュニティ・スクールの導入に向けて良いスタートになればと思う。

(3) その他

【事務局から次回の開催日程等を連絡】